

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第4回 理事会議事録

日 時：2015年 4月 30日 (木) 20:00～22:00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- (理 事 長) : 須山 (敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(副 理 事 長) : 澤畑、福田(之)、廣田、太城、中島
(専 務 理 事) : 金
(監 事) : 安野
(担 当 常 任 理 事) : 羽石、飯野、鈴木
(日本 JC 委員会特別委員長) :
(会 員 拡 大 特 別 委 員 会) : 小瀧
(法 令 会 計 審 査 局 局 長) : 豊崎
(事 務 局 局 長) : 飯沼
(委 員 長) : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田(弘)、山田、
木村、飯塚
(局 次 長、副 委 員 長) : 間島、金田、柿沼、相田、吉田、菊地、板林、佐藤、
南木、林
(準 理 事 会 構 成 員) : 赤井、齋藤、亀井
(代 理 出 席 者) : 徳岡、佐々木

中嶋代理徳岡

加賀田代理佐々木、

1. 開会宣言 <金> (役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <金田>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <菊地>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <相田>
5. 関東地区宣言唱和 <板林>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名
議事録 <総務委員会>
議事録署名人
須 山 裕 史
安 野 嘉 政
8. 前回議事録の確認 <金>

9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

10. 2015年度理事長挨拶

<須山>

1時間遅れで大変申し訳ございません。まずは総務委員会、渉外委員会の皆さま、はやくからの設営をありがとうございます。定刻にお集まりいただきました皆さま、大変申し訳ございません。監事が出席していないと理事会を開会できないという定款がございまして、1時間遅れての開会となりました。誰がわるいのかということですが、安野監事に連絡を怠った事務方などいろいろございますが、すべては私の責任だと思います。苦情などは私がお受けいたしますので、何かございましたら私にいただければと思います。さて、3月の政策委員会の例会や広島での対話集会などいろいろありましたが、皆さまたいへんお疲れ様でした。報告も受けております。広島まで行かれた方には、学んできたものをまわりの皆さまへ発信していただいて、宇都宮の全国大会のために役立てていただきたいと思います。山田君を中心に頑張っていたきたいと思います。

また、皆さまへおつたえしておきたいと思うのですが、ここ最近の議案の内容ですとか、本日の連絡の件だとかを鑑みるに、こういう言葉があるのですが、1音落とすものは去れ、という言葉があります。ご存知の方もいるのかと思いますが、この言葉は劇団四季の楽屋に貼ってある言葉です。劇団四季のスタッフはセリフに命をかけていまして、1つの言葉、セリフをかんでしまいますと、すぐに配役をはずされてしまうそうです。そのくらい、練習、準備に重きを置いているということで、1音落とすものは去れ、と書いてあるということです。私はミュージカルを結構みるのですが、子役のオーディションのドキュメンタリー番組をみますと、毎年2、3人がオーディションに当選して子役になるのですね。そして半年間くらいかけて練習をするのですが、舞台にあがれずに去っていく人もいます。プロとしてのミュージカルをみせる、というところでセリフや動作などが覚えられない人は舞台にあがれない、という非常に厳しい世界なのです。何がしたいのかといいますと、最近の議案をみるに、誤字、脱字だとかの細かなルールから逸脱しているというのがあるのでは、と思います。皆さまは142名のJCの理事を受けているわけですから、1つひとつの精度、ディテールに気を付けてもらいたいと思います。私たちは演者ではありませんので何を持って具現化するかといいますと、やはり議案になってくるのだと思います。1つひとつの事業、例会というものに対して真剣に向き合っていて、真摯に挑戦、という今年のテーマのもとにはげんでいただきたいと思います。

1つの誤字や不具合が議案にありますとチェックしている方も、この委員会は大丈夫なのかな、と不安を感じますし、どの程度時間をかけているのかな、と問いかけたくなってしまうと思います。やはりそういったところにプライドを持って挑んでいただきたいと思います。

長くなってしまいましたが、開会が遅くなってしまったこと、本当にお詫び申し上げます。また時間もかぎられている中、忌憚のない意見をいただきながら、スムーズな進行になるよう、ご協力をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

11. 直前理事長挨拶

公務にて欠席のため割愛

12. 役員報告

特になし

13. 審議事項

審-1 2月 市長例会 開催報告並びに決算（案）承認の件

審議資料に基づき、菊地副委員長より上程文の読み上げ

- <須山> 飯野常任、補足ありましたらお願いします。
- <飯野> 特段ありません。慎重審議をよろしくお願いします。
- <須山> 法令会計より、コンプライアンス、会計について豊崎局長お願いします。
- <豊崎> 特段問題ございません。
- <須山> ご意見なきようなので審議のほうに移りたいと思いますがいかがでしょうか。それでは審議のほうに移ります。2月市長例会開催報告並びに決算（案）承認の件、賛成の方右手挙手にてお願いいたします。白紙の方。反対の方。事務局長お願いします。
- <飯沼> 全会一致でございます。
- <須山> 全会一致をもって、審議可決とさせていただきます。山田委員長から一言お願いします。
- <山田> 先ほどの菊地副委員長の上程にもありましたが、本来であれば本例会は市長例会でございますので、市長を中心に講演を進められればよかったのですが、事前の打ち合わせと変わってしまって、市長の時間と上島先輩の時間の配分が1対3くらいになってしまいました。そのあたりがよろしくなかったとのアンケート結果もありましたので、しっかりと次年度につなげていきたいと思っております。多くの皆さまの出席をいただきましてありがとうございます。

採決の結果は、出席理事35名中、賛成35名、反対0名、白票0名であった。
定款41条の規定に基づき、出席理事の過半数の同意を得たため、本議案は審議可決となった。

審-2 5月 PR事業 開催計画並びに予算（案）承認の件

審議資料に基づき、篠原委員長より上程文の読み上げ

- <須山> 事務局長補足があればお願いいたします。
- <飯沼> 特段ございません。慎重審議をお願いいたします。
- <須山> 法令会計より、コンプライアンス、会計についてお願いします。

- <豊崎> 特段問題ございません。
- <須山> 篠原委員長、問い合わせなどはきていますか。
- <篠原> 私の方にはきておりません。まだチラシも配布されておりませんので。
- <須山> わんぱく相撲の1週間前ということで、皆さまのご参加をいただきながらこちらの事業を進めていかなければいけないと思いますので、お時間忙しいとは思いますが何卒ご参加をお願いいたします。
- <宮林> 言葉のところになりますが、審議対象資料のスマイルキャンパスガイドの※印にあります、キャンパスに描かれた絵に関する著作権は、公益社団法人宇都宮青年会議所に寄与するものとする、という文章において、寄与するという表現ではなく帰属するという表現が正しいと思いますので、訂正をお願いします。
- <篠原> 帰属するとの表現に訂正させていただきまして、審議とさせていただきたいと思います。
- <飯野> 先ほどのところに付随してなのですが、帰属するものとする、とありますがそこまでの文章がすべて、ですます調となっていますので、そこは統一していただければと思います。
- <篠原> 帰属するものとします、と訂正させていただきます。
- <須山> ご意見なきようなので審議のほうに移りたいと思いますがいかがでしょうか。それでは審議のほうに移ります。5月PR事業開催計画並びに予算(案)承認の件、賛成される理事の方右手挙手にてお願いいたします。白紙の方。反対の方。事務局長お願いします。
- <飯沼> 全会一致でございます。
- <須山> 全会一致を持ちまして、審議可決とさせていただきます。篠原委員長から一言お願いいたします。
- <篠原> 皆さま審議ありがとうございます。まずはお願いごとなのですが、委員会メンバーとともに走ってまいりました本事業に何卒ご協力をお願いいたします。また、出席率80%を目指していますので、そのあたりも皆さまご協力をお願いいたします。当日も各委員会に役割がございますので、一人でも多くのご参加をお願いいたします。また空いている時間に会場で楽しんでいただくことだけでも、皆さんJCジャンパー、JCポロシャツを着ていただいておりますので、宇都宮JCは多くのメンバーがいるということが市民の皆さまにご理解いただけたと思いますので、ご協力をお願いいたします。本事業を10月までしっかりとつないでまいりたいと思いますので、皆さまよ

ろしくお願いいたします。

採決の結果は、出席理事35名中、賛成35名、反対0名、白票0名であった。
定款41条の規定に基づき、出席理事の過半数の同意を得たため、本議案は審議可決となった。

14. 協議事項

協一 6月 法令会計例会 開催計画並びに予算（案）について

金田局長より2回目の上程のため変更点の読み上げ

- <金> ご意見ご質問はございますか。
- <木村> 背景のところなのですが、本文のそのためには以降の文章は、目的にあたるのではないのかなと思います。あとリーダーという言葉が多く見受けられますが、対外目的のところには含まれていません。公益事業ですので対外目的の部分にもリーダーという言葉が含まれてくるのでは、と思います。意見です。
- <金田> まず、市民の意識変革というところで、リーダー論を学ぶことによってよいリーダーが増え、そのリーダーに引っ張られる形で活動をする人が増える。そしてリーダーとともに活動することで、自分もリーダーになりたいと頑張っていくというのが市民意識の向上だと考えております。
- <金> 木村委員長からは背景の表現と、リーダーという言葉の扱いのご意見もいただいておりますので、そちらもあわせてご検討ください。
- <相田> 参加員数計画では299名を収容する予定になっておりますが、駐車場の対応は可能なのでしょうか。
- <金田> 駐車場につきましては、400台を収容することが可能となっております。
- <林> ビジターの件で質問させていただきたいのですが、今回5名を目標にされておりますが、私はもっとビジターを呼べる例会なのではないかと思っております。それで質問なのですが、人数の上限が299名という認識でよろしいのでしょうか。
- <金田> 会場が福祉プラザの多目的ホールとなりまして、最大席数が308席となっております。
- <林> 当日の対応も可能ということでよろしいのでしょうか。
- <金田> 席数以上の方が来場された場合は、メンバーの皆さまにもご協力をいただきたいと思いますのですが立ち見での対応も検討しております。

- <鈴木> 前回の常任理事会の意見と対応の2番項で、200名の動員を目標としますが、とありますが議案では180名となっています。さらに意見と対応の8番項では180名が適正と考え、とあります。これらを踏まえたうえでの参加員数計画、明確な人数をどのように考えているのか説明をお願いします。
- <金田> 前回の常任理事会では席の数に誤りがありました。それで今回の理事会では正しい席数に修正をし、再度議案を練り直したうえで、この人数とさせていただきます。
- <鈴木> そうでしたら、意見と対応の方の修正をお願いします。
- <木村> 背景に、自治会の参加率や選挙への投票率を、というところがありますが、議案をみていきますと、対象者は経営者向きなのかなと思います。自治会などの表現をされるのであれば、チラシ配布先を増やしていただいて各自治会の自治会長や理事の方にお越しいただくのがよいのではないかと思います。この議案をみるかぎりでは、ですが。
- <金田> 配布先の考えとしましては、CSR企業を中心に配布させていただいて動員をかけていこうと考えています。ただ、自治会というご意見もいただきましたので、そちらもあわせて検討させていただきたいと思います。
- <木村> 市民の意識変革という点において範囲が狭くなってしまうと思いますので、検討するのではなくそういったところを盛り込んでいくべきだと思います。理由としましては、JCの事業、例会は市街の中心部に対してのものが多く、郊外の自治会単位へのアプローチが少ないといわれています。こういった機会、リーダーを育てるという点では自治会という地域単位からもよくなると思われしますので、加味していただけると、と思います。意見です。
- <宮林> 事業要綱のところで質問なのですが、対外的に市民の意識変革というくだりがありますが、この意味というのは背景からみますと、地域に関する関心が高いとはいえない現状、という言葉がありますので地域に関する関心を高めるというのが市民意識の変革なのかなと思うのですが、そういう理解でよろしいでしょうか。
- <金田> 市民が地域に対する意識、自分が宇都宮市民だとか、地域の一員であるという意識が薄れていると感じておりますので、そういった人たちにもっと自分のまちに興味を持っていただく、ということにつなげていきたいと考えております。
- <宮林> 地域に対する想いだとかになってくるのだと思いますが、講師のプロフィールを拝見いたしますと、公認会計士で経営が主体の方のように見受けられますが、その方が講演することによってまちに対する想いがどのように生まれてくるのか説明していただけますか。

<金田> 講師についてなのですが、確かに会計士ということではありますが、いろいろなところで孫子の兵法などのセミナーをされている方です。非常に講演の経験も豊富ですし、私たちと同じような経営者でもある方ですから、同じような目線でリーダーシップなどを語っていただけるのではないのかな、と思いついて選定させていただきました。

<金> テーマのところにもちを変えるところがございしますが、まちに対することも語ることができる方なのか、という点もお願いします。

<金田> 講師の方と打ち合わせをさせていただいて、孫子の兵法の考え方を利用してまちづくりにつなげていく。そういったこともお話しいただけるということで進めています。また講師の方もいろいろな地方におけるまちづくりの講演をされてきた実績がおありであると聞いておりますので、そのあたりは問題ないかと思っております。

<宮林> 客観的にこのプロフィールをみれば、私は先ほど経営が主体と申しましたけれども、そう感じるのがふつうではないかと思えます。まちづくりだとか、地域に対する関心だとかということであれば、地方自治に対して研究している大学の先生であるとか、政治をされている先生を呼ぶのがふつうであるかと思えます。あえて経営の方を呼んでそこに結び付けていくというのであれば、金田局次長の想いだとか、もしくは何か理由があるかと思えますのでそこを教えてください。

<金田> まちづくりということにつなげる例会ではあるのですが、リーダーシップという点に今回は重きを置いています。リーダーシップを養うことにより、まわりを巻き込む力ですとか、組織を効果的に運営する力を学ぶことにより、小さな自治体やコミュニティがよくなる。それがまちづくりを発展させる、ということにつながっていくと考えております。そのようなまちづくりを発展させるリーダーを育成することが今回の例会の目的だと考えております。

<飯塚> 質問なのですが、県提出資料には栃木県、宇都宮市、各種団体からの後援をいただき、とありますが現状で後援をいただくような内容の議案にはなっておりませんので、後援は募らない、というかたちでよろしいのでしょうか。

<金田> 後援の方は募らないというかたちになりましたので、修正させていただきます。

<金> この件は委員会にて再度検討願います。

<飯塚> この講演を聞くことによって自分自身から変化を求め積極的に行動をおこせるようになるのか。また、委員会としてはリーダー論をどのように考えているのか説明ください。

<金田> 積極的に行動をおこせるようになるのか、という点なのですが、リーダ

一としての学びや経験をえることによってできることが少しずつ増えていき、そういったステップを踏むことで意識は変革していくのではないかと思います。リーダー論といいますと、まずは統率力、あとはまわりを巻き込む力ですとかをリーダー論と考えております。

<須山> 孫子の兵法の本を持ってきているみたいですけど、どのようなことが書かれていますか。

<金田> 負けないためにどうするか、ということが孫子の兵法に書かれています。兵法書というと、相手にどのように勝つか、ということ想像しがちですけども、相手に勝つこと以上に自分をみて、俯瞰的なものの考え、また選択をどうするのか、ということ現代のビジネスや経営に結び付けていく。それが孫子の兵法のおもしろいところだと思います。

<須山> そういったところも議案に落とし込んでいただけるとよろしいかと。皆さまもそうだと思いますが、金田局次長の答弁を聞いていて、なかなか伝わりづらいところがあるのかなと思います。リーダー育成という部分と孫子の兵法という部分のはらにおちていないのかなと思います。また戦わずにして勝つというのは孫子の兵法の根幹の部分だと思いますが、それでこの世の中をいかに乗り切っていくかということ伝えたいのかな、とも思います。そのあたりもいろいろ考えていけば、より伝わりやすくなりますし、よい例会になるのではないのでしょうか。

協一 2 7月 全国大会対話集会事業 開催計画並びに予算（案）について

山田委員長より2回目の上程のため変更点の読み上げ

<金> ご意見ご質問はございますか。

<木村> 6月24日というのは、メンバーの役割は何かあるのでしょうか。

<山田> 現地調査のスケジュールをみていただきたいのですが、6月24日水曜日の12時から開催となりまして、あわせて参考資料の埼玉中央JC実施、現地調査風景の写真もみていただきたいのですが、パネルを持っている方がいると思うのですが、こちらをメンバーの方にお手伝いをさせていただいて、全国大会運営会議が各会場に到着した際には説明などもさせていただきたいと考えております。

<木村> 先ほどの質問に対してなのですが、理事でも小会議ごとに分かれているので、全般的にこれをよく理解している人がどれだけいるのかということになってくるとは思うのですが、これから作り込んでいってメンバーにおとしこんでいくには、6月24日というのは時間がなく、間に合わないのではと思いますがそのあたりをどうお考えでしょうか。

<山田> 資料につきましては審議がありますので、それまでに参考資料としてのせていきたいと思えます。基本的には委員会の方で、ある程度の概略を作成させていただきますが、実際の説明の方は各委員会の方をお願いしたいと思います。もちろん全国大会招致推進委員会のメンバーが担当としてサポートさせていただきます。具体的なスケジュールといたしましては、来月中には概ねの資料を作成し、6月の頭ぐらいには審議になりましたらですが、各委員会をお願いにあがりまして、資料を読み込んでいただいて、実施までには何度か練習をして本番に臨みたいと考えております。

<須山> 事業内容のところの現地調査タイムスケジュールにおいて、ホテル東日本だけにリンクがあるのですね。もし、つけるのであればそれぞれにつけた方がわかりやすいかなと思えます。また、備考欄のところのウェルカムレセプション、大会成功祈願などが記載されておりますが、それらしい画像を添付するのもわかりやすくてよいかと思えます。あと、審議対象資料の15番の一般市民HP申し込みフォームというのがありますが、こちらはどのようなかたちでの集客をお考えでしょうか。

<山田> 本事業は本来であれば、あくまでもJCメンバーだけで行う趣旨のものではありますが、公益事業ということでこのようなかたちをとらせていただいています。HP上でのみ、この申し込みが可能でして、一般の方に参加をしていただくかたちをとっています。

<須山> 山田委員長、バナーを作成いただいて次回までにのせていただければと思えます。

協－3 7月 メディア関連例会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき篠原委員長より上程文の読み上げ。

<金> ご意見ご質問はございますか。

<佐藤> 背景のところなのですが、まちづくりに対して当事者意識を持つことは必要不可欠です、とありますが事業目的には経営資質の向上とされている意味を教えてください。

<篠原> 市民がまちづくりに対して当事者意識を持つというのは、市民の資質を向上させるという意味です。その資質の中には経営の資質なども含まれますので2つの資質の向上を記載させていただきました。

<佐藤> 市民がまちづくりに対して当事者意識を持つことと、経営の資質はあまり関係がないのかな、と思えますので検討していただきたいと思えます。意見です。

<篠原> 当事者意識というのは、市民の資質というところにつながってくる、というところでは。

<木村> 目的のところが市民の資質と経営の資質のところがよくわからないので説明をお願いします。

<篠原> 背景にあります、魅力あるまちへ発展させていくというのは、人の成長ということを考えていまして、そこで人財が育つということ。また、市民の資質が当事者意識であって、そこに経営の資質も求められるということだと考えています。

<木村> この背景に対して、目的にある経営の資質の結びつきがよくわかりませんので、その結びつきの説明をお願いします。

<篠原> まず魅力あるまちへ発展させていくには、ということなのですが市民がまちづくりに対して当事者意識を持つことが必要だということです。魅力あるまちというのは、まちづくりが私の思う市民の資質なのですが、その魅力あるまちには経済が潤っているという要素も入ってくると思うのですね。市民が資質をあげてまちづくりに携わって、経営の資質が向上することで、宇都宮というまちは魅力あるまちへ発展していくというかたちだと考えています。

<木村> 経営の資質というものと背景の結びつきがわかりにくいので、背景を精査していただいて、また目的の経営の資質というものが、市民がまちをつくることに対して必要なのか、もしくは経営者を対象とした事業なのか、そのあたりをもう一度みつめなおしていただきたいと思います。

<飯沼> 経営の資質との結びつきがわかりにくいという点で、背景の方を精査させていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。

<須山> 特にございませぬ。

協一 4 9月 青少年ダンス事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料につき相田副委員長より上程文の読み上げ。

<金> ご意見ご質問はございますか。辻委員長いかがでしょうか。

<辻> 特にございませぬ。

<徳岡> 私も経験ありますのでわかりますが、審査方法がいつもネックになると思いますし、また今回はストリートダンスにかぎらずいろいろなダンスをされるということで、審査方法が重要になってくると思います。そのあたりの説明をお願いします。

<相田> 審査方法で問題となってくるのは、衣装やスキルの評価なのですが、衣装はお金の問題もありますが目映るところはやはり大切だということで入

れさせていただきます。あと私の手違いなのですが、表情という項目がありますが、今回は能や獅子舞もありまして、お面をつけているんですね。そういったこともございますが、皆さんから何かご意見ご提案があればいただきたいと思っております。

<木村> 緊急連絡網なのですが、現状ですと段階が多すぎると思いますので精査をしていただきたいと思います。もう一つ、紅白というところでチームを2つに分けていくと思いますが、先ほどもありました審査のところ、衣装や表現、オリジナリティなどの項目では厳しいのかなと思いますので審査表を精査していただきたいと思います。あと第1回目の協議ですので、もうちょっと真摯に挑戦をしていくような、ドキドキワクワクするような、わかりにくい表現ですけども、そういった感じの議案を1回目は入れてくるべきだったのかな、と思います。紅白であれば、もっと青少年事業につなげて、たとえばですが紅か白か勝った方のチームを東日本ホテルに招待して、商品というかたちでテーブルマナーを教える、だとかの発展性のある面白い企画を作っていたら、もっと委員会でもんでいただければと思います。

<相田> いずれも委員会に持ち帰らせていただいて新しい手法やドキドキワクワクするような材料を付随させていきたいと思っております。

<山田> この議案の要となるのはストリートダンスにかぎらず様々なダンス、日本舞踊だとかを巻き込んで、前と違うものにしてというお考えだとは思いますが、例年、第3回の中から申し込みチームは先着にしたのですが、それをそのままやっけてしまいますと、たとえばですが、ヒップホップのチームだけで26チーム埋まってしまうとかがあるかもしれないと思います。ジャンルごとにどの程度参加を促していくのか、選定をしていくかを考えていかないといけないと思います。また、会場についてなのですが、他の会場も考慮したうえでこちらを選ばれているのか。まだ時間もありますので委員会で考えてみていただきたいと思っております。

<相田> 参加チームに関してなのですが、委員会で動いておりまして、議案に記載させていただいたチームの方は実際に確認しているチームもあります。ジャンルも分けて偏りのないようなチームを集めていきたいと思っております。次に会場なのですが、去年の9月あたりから委員会でいろいろなダンス大会を見学させていただいておりまして、室内だと光の演出等を効果的に使用でき、派手さはございました。ただ今回、オリオンスクエアを選定した理由の1つとしまして、通りすがりの一般市民の方にも参加していただける可能性があるというのがありまして、また少しでも多くの人に様々なダンス、踊りを発信していきたいとの委員会の思いより、オリオンスクエアを選定させていただきました。

<佐藤> 紅白に分かれて26チームということなのですが、13チームずつになるとと思いますが、予算書の方ではトロフィーは6個となっていますがどのような扱いになっていますか。

<相田> トロフィーの件なのですけども、優勝チームに1個と審査員が5名いますので、審査員特別賞というかたちで5個と考えております。また県提出用事業計画書において、分類上、表彰、コンクールにあたりますのでこのようなかたちをとっております。

<飯野> 意見なのですが、参加者なのですけども、議案をみていきますと日本舞踊だとか具体的に記載されておりますが、こちらの事業は公益事業ですのでこちらから恣意的に参加者を限定することはできませんので、あくまでも公平に募集をするという体裁はしっかりととっていただく必要があるかと思っております。

<福田(弘)> 現状、審査員はどのような方を予定されているのでしょうか。

<相田> 今回ジャンルが多くなりますので、同じジャンルの人を審査員に呼んでしまうと偏りができますので、失礼な表現ですがダンスの知識がないと思われるが知名度のある方を考えております。たとえばですけども、今お声掛けしてはいますが船田先生だったり、螺良議長であつたりとか、あとダンス協会にも打診して調整しているところです。

<福田(弘)> ダンス自体とは関係のない有識者ということで考えているということですね。ただ、このような多ジャンルのダンスの審査ですので、調整役という意味での審査員は必要かと思ひますし、たとえば会場の方からの投票だとかの体裁、要するに技術がどうという評価ではないのであれば、そのようなかたちのコンテスト形式にするということも考えられるかと思ひます。意見です。

<篠原> 審査員の選定条件などはありますか。

<相田> 選定条件なのですけども、明確な条件はありません。ただ、まったく知らない人が審査をしますと団体の方が納得されないのではと思ひまして、ある程度知名度のある有識者の方を考えております。それが1つの条件です。

<佐々木> 紅白のチーム分けなのですけども、男女のチームに分けるのかそれとも男女混合なのでしょうか。

<相田> 委員会で現在検討しているところでして、男女で分けることはむずかしいです。皆さんが納得できるかたちにしたいと思っております。

<木村> 先ほど飯野常任からもありましたけども、やはり現時点で各団体が決まっているのはおかしいかと思ひます。ダンスが何年も続いてきた中で、今年どんな発展を遂げるのか、という点を考えて、もっと視野を広げるといふか。別にチームにこだわる必要はないと思ひます。むしろチームを作らせる、たとえばですが優勝賞金を目指して高校の友達同士で大会にでてみよう、そのために練習をしよう、というようなことが背景、目的でもよいのではないかとも思ひます。そういうチームを作らせる、ということに特化してもよいかと思ひます。あと審査員は著名人だからよいというのではないと思ひますので、委員会で検討していただいて、小中高の体育の先生を呼ぶだとか、いろいろ

検討してみてください。

<鈴木> 紅白に分けるかたちはよいと思うのですが、今年の工夫と期待される効果のところに、新たなるコミュニケーションをもたらす、とありますが、コミュニケーションをもたらすための設えをもう少し考えてあげたらどうかと思います。あと、こちらは質問なのですが、選手控室どちらになりますでしょうか。

<相田> 控室は地域コミュニティセンターを利用しようと思っています。

<須山> いろいろな意見がでましたけども、審査の件でいえば、福田委員長が話されていた、みんなで審査ができるようにというのは、非常によい意見だなと思いましたので委員会で検討してください。あとは鈴木常任の話されていた一体感ですね。紅白というはじめての手法ですが、参加している人と応援している人が盛り上がっているイメージが浮かびますので、そのあたりも委員会で検討してください。また、相田副委員長がいらっしゃいました、オリオン通りを歩いている人が参加できるように、とのことなのですが、これはけっこう難しいことだと思うのです。オリオン通りを歩いている人をどう呼び込んで、一緒に巻き込ませるか。是非ともよい案を持って次回に臨んでください。

協一 5 2015年度 新入会員認証（案）について

協議資料につき佐藤副委員長よりの上程文の読み上げ

<佐藤> 審議格上げの動議をお願いいたします。

<金> ただいま佐藤副委員長より、審議格上げの動議がありました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いいたします。飯沼事務局長、羽石常任。それでは審議格上げの決をとりたいと思います。協議事項5番2015年度新入会員認証（案）につきまして審議格上げに賛成される理事の方、右手挙手にてお願いします。反対の方、白紙の方。事務局長お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<金> 全会一致を持ちまして、本案件を審議事項3番に入れさせていただきます。

審一 3 2015年度 新入会員認証（案）承認の件

審議資料に基づき、佐藤副委員長より上程文の読み上げ

<須山> 先ほど意見もでておりませんでしたので、このまま審議に移りたいと思いますが皆さんいかがでしょうか。それでは2015年度新入会員認証（案）について賛成の方、右手挙手にてお願いします。白紙の方。反対の方。事務局長お願いします。

<飯沼> 全会一致でございます。

<須山> 全会一致をもって、審議可決とさせていただきます。2名あらたに新入会員を迎えることができました。15名となりました。まだ、道半ばでございますので、皆さん全員で拡大の運動を進めていきたいと思っておりますので引き続きのご協力よろしく申し上げます。ありがとうございました。

採決の結果は、出席理事35名中、賛成35名、反対0名、白票0名であった。
定款41条の規定に基づき、出席理事の過半数の同意を得たため、本議案は審議可決となった。

15. 報告依頼事項

報-1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報-3 会費納入状況について

<金田> 未入金者残り4名です。各委員会で再度、催促をお願いいたします。

報-4 特別会員入金状況について

<金田> 変更ございません。

報-5 4月ビジター報告について

<佐藤> 資料をご一読ください。あと5月はわんぱく相撲がございますが、こちらはかなりビジターを呼びやすい例会なので皆さまの協力をよろしく申し上げます。

<鈴木> 4月のビジター報告書に写真の添付のない方が3名いますので、対応をお願いします。

報-6 ビジター名簿について

<佐藤> ご一読ください。

報-7 その他 特になし

16、監事講評

<安野>

まずは、1時間も遅刻をしてしまって皆さまにはお詫びのしようもございません。時間に遅れるものは、人の時間を奪っている、というふうによくいわれます。私もなるべく時間には注意しているのですが、今日はこれだけの人数の時間を奪ってしまいましたこと、大変反省しております。定款の33条に監事の理事会への出席義務というのが明記されていますので、これを肝に銘じて今後の活動をしていきたいと思っております。

理事会の中身なのですが、審議事項に関しては問題ないと思いましたが、協議事項の6月例会なのですが、もっとターゲットを明確にした方がよろしいかと思っております。孫子の兵法、私も興味がありますので、目的と手法をどう絡めていくかというところをもっと検討した方がよろしいかと思っております。それから、7月の対話集会ですが、実際には6月に開催されますけれども、こちらの方、私も一当事者として皆さまに参加をお願いしたいと思います。中身も埼玉、広島と今年は2回開催されております。出席された方はおわかりになっていると思いますが、やはりピリピリとした質問の応酬、応対、それと事前説明等々、まちなかにでて自分のまちをどうみんなに伝えるか、よく招致会議の方で揉んでいただいて素晴らしい対話集会を作りあげていただければと、切にお願いしたいと思っております。それと、メディア関連例会は目的が少し短絡すぎるのではないかと。事業内容が箇条書きになっていましたが、何かと紐づけしていくという作業が必要なのではないかと思っております。ただ何かと何かをつなげますだと、内容ではないのでは、と感じた部分もあるので精査が必要なのかなど。意見と対応の部分がオウム返しになっていないか。たとえば何かを対応してください、それを対応しました、という応酬になっていたのでは、しっかりとどこを直したのか明確にしていく必要があるのではないかと思っております。また9月ダンス事業ですが、はやい段階からの上程ということで、まだ全部イメージできていないと思っております。少しずつイメージできるようにということと、新しい手法を用いていますが、何が目的かということと子どもたちが笑顔で参加していただくことが目的だと思いますので、そのような部分を中心しっかりと事業を構築していただきたいと思っております。理事長が冒頭で議案に対してどれだけ時間を割いているのか問いたい、プライドをもって構築して欲しいとおっしゃっていました。やはり議案にかけた時間に対して事業の素晴らしさ、内容が比例していくと思っておりますのでどれだけ議案に向き合って、どれだけ時間を費やしたのか、議案をみればすぐにわかります。本当に書いた人が上程しているのか、自信がなさそうに上程したり、言葉につまってしまう。そういう部分が自分の中でしっかりとおちていないというのが正直なところだと思いますので、そういうところは真摯に反省していただいて、次回までにはすべての答弁をしっかりと答えられるように準備を怠りなくしていただければと思います。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2015年度 第4回理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 史

安野嘉政